


「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

2024年 6月 24日	
所属部局・学年	野生動物研究センター
氏名	島遼

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)
大阪湾～函館(太平洋)
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)
海棲哺乳類調査実習
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)
2024年4月23日 ～ 2024年4月27日 (5日間)
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
北海道大学水産学部附属練習船「おしよろ丸」
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)
写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。
<p>本実習では、練習船「おしよろ丸」で5日間かけて太平洋を航行し、アッパーブリッジから海棲哺乳類の目視調査を行った。まずはTAの鈴木さんから器具の使い方や目視調査の手法を学習した。私は本格的な双眼鏡の使い方を知らなかったため、左右の視野をレンズ周りのリングを回して別々に調節する部分に苦労した。双眼鏡はとても重いため、支えの棒をつけると観察しやすいことも学んだ。また、天候記録方法も学んだ。水平線の見えやすさや波の立ち方を記録するのだが、慣れるまでは人によってばらつきが大きくなるのかと不安に感じた。今後は先輩や先生の記録に立ち会うことで、正確な目を養いたい。</p>

写真1: アッパーブリッジでの目視の様子
<p>調査は交代制で、2人ずつワッチを組んでアッパーブリッジ上で2時間海棲哺乳類を探索した。船酔いと闘いながら双眼鏡を覗き続けるのはとても体力を消耗し、交代後は毎回ベッドに倒れ込むように眠っていた。そのため実習中は1日の総睡眠時間が12時間超えの日も多かった。調査終了後は器具の水拭き、データ整理などを行い、交代制で食事を取った。私は乗り物酔いに弱く、特に初日～3日目は常に気分が悪くて食事をあまり取れなかった。酔い止めやアメ、睡眠など準備は万全にしたつもりだったが、長期間の実習ではゼリーの用意(パウチ状のもの)や胃薬(酔い止め薬で胃が荒れるため)、飲料水の確保(食堂まで水を取りに行くことができなかった)などさまざまな事態を想定した準備が必要であることを学んだ。また、体力を消耗するため、日頃から食事量や運動量を増やして、数日食事量が減っても大丈夫な体づくりをすることが重要だと感じた。そしてそれでも船酔いしてしまったら、安心のためにエチケット袋を近くに置いて眠ってしまうことが一番である。これは今後の実習生にも伝えていきたい。</p>
<p>最初の3日間はクジラのブローやイルカの背鰭が観察できたが、姿をはっきりと見ることはなかった。海棲哺乳類が見られないときはミズナギドリやアホウドリなどの海鳥を観察して楽しんだ。海鳥が集まっている鳥山と呼ばれる海域では下で海棲哺乳類が採餌していることが多いと聞き、注意深く探すとかなりの確率でブローや背鰭を見ることができた。4日目にイシイルカの群れ、最終日にキタオットセイとイシイルカの姿を見ることができた。イシイルカは船の前を波に乗るように泳いでいて、双眼鏡で見ると白黒のコントラストや体の筋肉の様子が観察でき、想像以上に大きくて力強い印象だった。キタオットセイは船の前をイルカのようにジャンプしながら横切って行った。沖まで行っても船の方を気にして何度も振り</p>

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

返っており、その視力の良さに驚いた。さらに、私は直接見られなかったがマンボウも海面に浮かんでいたようだ。寄生虫対策のためか、半身を空に向けてぷかぷかと浮かんでおり、その上に鳥が乗っていた様子を写真で見た。海に出ると、海棲哺乳類以外にも色々な生き物を観察することができ、遭遇した生き物の生存戦略や生態系のつながりを考えられるのがとても興味深いと感じた。



写真 2, 3: 2頭のイシイルカ(左)とジャンプするキタオットセイ(右) 津軽海峡にて

最後に、船内生活では多くの船員さんにお世話になった。船での暮らしはとても規律正しく、日々規則を守り挨拶をきちんと行うことが安全対策につながるのだと知った。今後も船での調査を行う際は船員さんや同行者、関わる人々に感謝の気持ちを持って安全に調査を遂行したい。

※メンター（PWS プログラム指導教員）が確認済の報告書を【report@pws.wrc.kyoto-u.ac.jp】宛にご提出ください。

6. その他（特記事項など）